

第9回登別市史編さん委員会 協議概要

日 時 令和2年1月28日 午後1時30分～

場 所 市役所第3会議室

出席者 委員 出席8名、欠席2名

事務局 3名

1 報告事項

- ・今年度発行した第11号から第13号までの内容の概略を説明した。
- ・登別地獄谷にある薬師如来の建立に関与した栃内氏について、菩提寺等が新聞記事に掲載されていたことを報告した。

2 協議事項

『新登別市史』の市民等向け販売価格について諮問し、調査審議した結果、事務局案の5千円が妥当との答申を受けた。

<質疑応答>

(委員)

印刷製本費で単純に割り返した場合の1冊あたりの金額はどれくらいになるか。

(事務局)

校正から印刷製本までを一式で11,528,000円で契約した。印刷製本費はそのうちの約8百万円で、割り返すと1冊あたり1万6千円となる。

(委員)

1冊が5千円だと手が出にくい市民も出るのではないだろうか。

(委員)

今のご意見について、仮に1冊を2千円や3千円にしてもそれほど売れ行きに変化があるとは思えない。5千円が妥当ではないか。

(委員)

発行部数はどれくらいを予定しているか。また、販売分を完売した場合の対応はどのように考えているか。

(事務局)

他市町村等への寄贈分と市民等への販売分が各250冊の計500冊を予定している。

刊行予定日の令和2年8月1日には、印刷は不可能な状態にしたPDFファイル等の形式で市公式ウェブサイトに掲載する予定である。

完売した際には増刷せずに、市公式ウェブサイト、又は市立図書館等で閲覧をしていただくこととなる。

(委員)

市外からの注文には市内向けよりも高く販売する市町村もあるようであるが、市内外で価格を変更することについてはどのように考えているか。

(事務局)

市史編さん事業は、本市の歴史をまとめるとともに、広く市内外に本市の歴史を知っていただくことも大切な事項と考えている。

そのため、本市の歴史に興味を抱いていただいた方には、市内外で分けることなく同一の価格で販売していきたいと考えている。

(各委員)

市史編さん委員として、市史を刊行後に市史編さん委員会を単純に解散すると言うことではなく、次代に伝えるべきことを提言したほうが良いと思う。

寄贈先には、少なくとも胆振管内の全市町村の図書館には寄贈していただきたい。

さらには、市史編さん事業の中で調べたこと全てが市史に盛り込めるものではないと思う。盛り込めなかった部分も含めて市民に向けて、興味深い話などを還元するような機会を設けて欲しい。

(事務局)

今後の事業として、3月頃と来年度には写真パネル展の開催を予定している。

刊行後には、市民に郷土史研究に興味を抱いていただけるような内容の講演会の開催を検討したい。

(委員長)

それでは、販売価格は5千円が妥当と答申することによろしいですね。

(委員一同)

異議なし。

3 その他

- ・以前出席した会議の中で話題となった「鷺別盆唄」について、その復元を検討している。謡った記憶がある市民もいることから、遠くない内に復元できるのではないかと思う。何かご存じの方がいたら、情報提供をして欲しい。(委員)
⇒平成23年に教育委員会で実施した事業の中で鷺別町在住の市民から話が出ていた旨を情報提供した。(事務局)
- ・現在、もりおか歴史文化館（岩手県盛岡市）で南部藩と北海道の関わりに関する展示が行われている。遠隔地のため、気軽に行くことは難しいと思うが、情報提供しておく。(事務局)